





補助手すりシステム サクシヨンバー 施工説明書








◆安全上のご注意◆

- これから示す注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付く安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- 表示内容を無視した使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

安全のために必ずお守りください。

	警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性や物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)		
		このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
		このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

◆施工上の注意、警告◆

	◆当社が指示している壁面及び、場所以外への取付けはおやめください。
	◆取付け壁面及び場所と被着体 タイル壁面……………(表面がフラット及びナシ地の、100・150・200角のタイル) 浴室・トイレタリー……………(FRP、プラスチック、フラット及びナシ地の、100・ ユニットバス壁面 150・200角のタイル)
	※廊下、玄関、階段等及び、浴槽の中には、使用しないでください。
	◆専用接着剤を他の用途に使用しないでください。
	◆サクシヨンバーを他の接着剤で取付けしないでください。
	◆壁内部の強度のあるところにしっかりと確実にお取り付けください。 (土壁やモルタル壁、塗装壁、クロス貼り等、崩れやすい壁や剥れやすい壁等には使用しないでください。)
	◆補助手すり以外のご使用はおやめ下さい。手すりが外れ、ケガをする恐れがあります。
	◆仮設置状態での手すりの使用はしないでください。手すりが外れ危険です。

サクショナーの取り付け手順

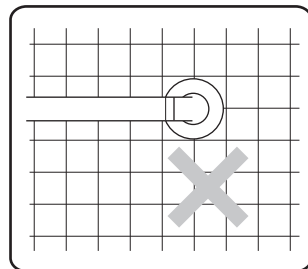
1

取付け位置の確認をします。

・お客様の取付けたい位置への施工が可能か確認してください。
ユニットバス・タイルの目地にかかる場合は取付けできません。



- ・塗装壁、モルタル壁、壊れやすい壁には取付けできません。
- 注意 ・取付けピッチが合わない場合は、取り付けないでください。



2

取付け面の強度確認をします。

積み上げ貼り式などの旧式の施工タイルは強度的に弱くなっている可能性が高く、取付け前に確認が必要です。

確認方法（例）

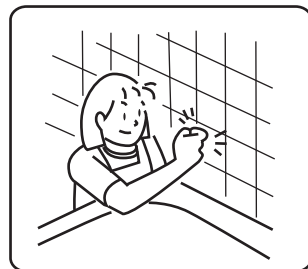
- たたいて状態を（空洞があるか）確かめる。
- ヒビやワレ等がないか調べる。



塗装（仕上げ）面には取付けできません。



浴槽内は取付けできません。

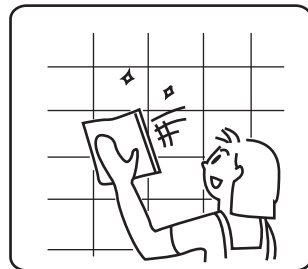


3

取付け面の汚れ、水分を拭きとり、よく乾かしてください。



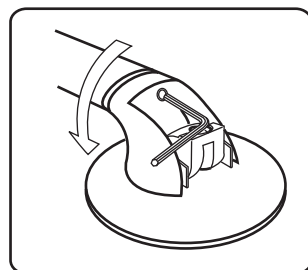
- ・汚れや水分があると、接着効力が落ちるおそれがあり、よく乾かしてから作業してください。
- 注意 ・洗剤などがついている場合は、よく拭きとってください。
- ・汚れのひどい場合は、アルコールで拭きとってください。



4

ボルトを六角レンチでゆるめてください。

- ・ブラケットの上部のボルトを付属のレンチで、1m/mほど（2回転程度）ゆるめてください。



5

取付け場所への仮設置を行います。

- ・レバーをレバー軸に差し込み、ブラケットを取り付け面に強くおしあてながらレバーを倒すと吸着します
- ・吸着しなかった場合は、再度レバーを戻し付け直してください。



お客様と取付け位置の相談をしてください。



6

目印として、型枠を貼ります。

- ・各ブラケットに型枠を貼りましたら、手すりを取り外します。



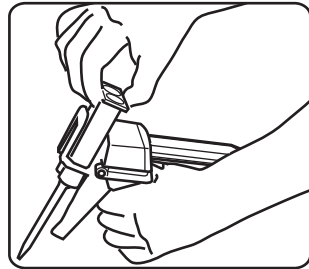
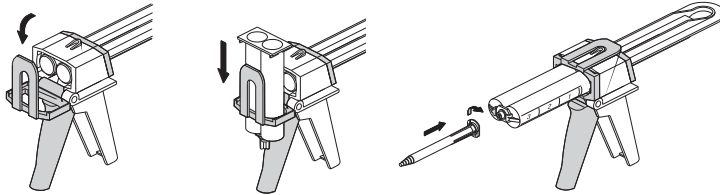
施工方法

7 付属のプライマーを取付け位置に塗ります。
・塗り残しの無いよう、まんべんなく塗ってください。

❗ 窓等を開け、換気のよい状態で使用してください。

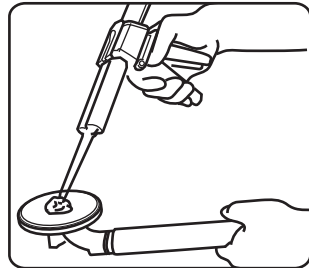
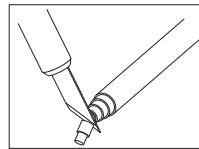


8 カートリッジを専用ガンにセットします。

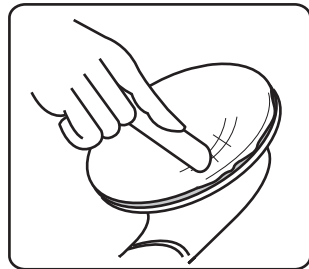
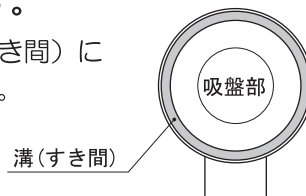


9 目盛り1ヶ分をブラケット吸盤部分に出してください。

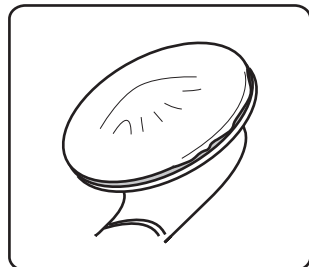
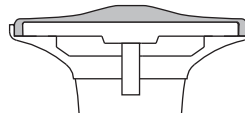
- ・最初に出た接着剤は混ざっていないので約1cm分は使用しないでください
- ・接着剤が出にくい場合にはノズルの先端をカットして作業を行ってください
- ・周囲の溝から先に埋め込んでください。



10 溝に接着剤を埋め込みます。
・ブラケットと吸着版の溝（すき間）に接着剤を埋め込んでください。

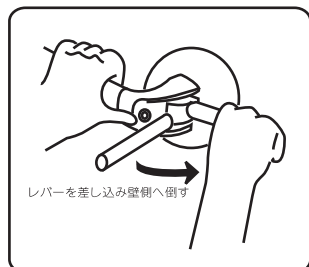
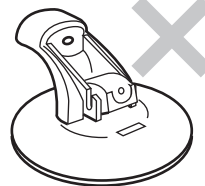


11 接着剤を塗り広げます。
・残りの接着剤を吸着盤全体に薄く広げ、中央部には接着剤を盛り上げてください。



12 型枠にブラケットを合わせ、レバーを倒し取付けます。

- ・取り付け方法は5の工程と同様。（レバーをレバー軸に差し込み、ブラケットを取付け面に強く押し当てながら、レバーを倒す。）



レバーを差し込み壁朝へ倒す

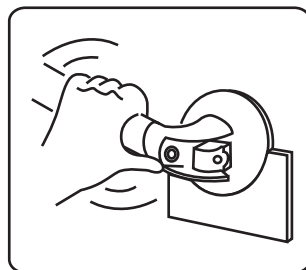
❗ レバーを最後までしっかり倒してください。

施工方法

13 吸着しているか、よく確認してください。

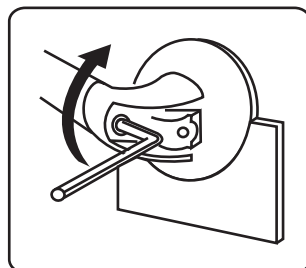
- ・吸着の確認をしたら、しばらく置いてください。

5~10月くらいの暖かい時季の場合5~10分
11~4月くらいの寒い時季の場合は10~15分
置いてください。



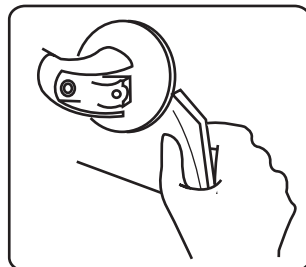
14 硬化の確認をしてボルトを六角レンチで締めます。

- ・接着剤の硬化を確認したら、各ブラケットのボルトを六角レンチでしっかり締めます。



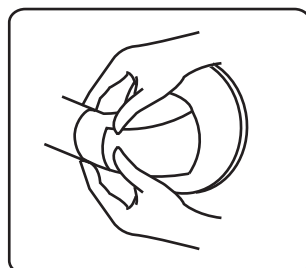
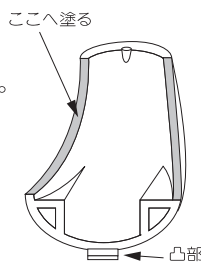
15 型枠を外します。

- ・型枠は接着の際、ブラケットのズレ防止も兼ねています。



16 各ブラケットのキャップを締めます。

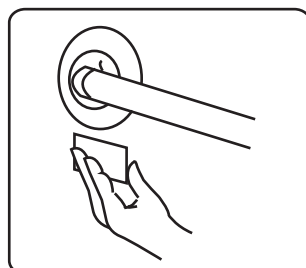
- ・斜線部を示した部分に薄く接着剤を塗っておきます。
- ・キャップの凸部を丸座にはめこみイラストで示すようにキャップの上部を両手の親指でパチンと音がするまで押してください。
- ・締まらなかった場合は、一度キャップを取り、穴があいているかどうか確認してください。穴が開いていない場合は、カッターナイフで開けてください。



17 施工終了後、施工シールを貼ります。

- ・施工シールに施工日、販売店名及びその電話番号を記入し、手すり付近に汚れ、水分を拭き取り貼ってください。
- ・ラミネートを忘れずにかぶせてください。

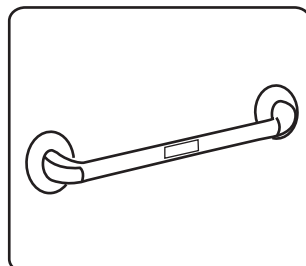
●安全使用期間 施工日より7年



18 使用禁止シールを手すりに貼ります。

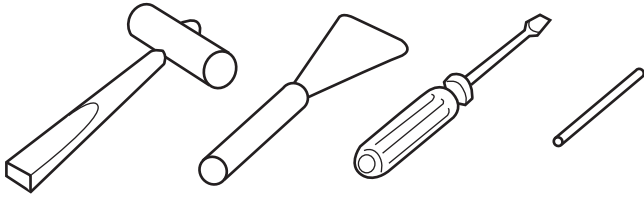
- ・使用禁止シールに、取り付けした時間から24時間後の日付と時間を記入し、手すりの中央に貼ってください。
- ・24時間後、使用禁止シールは、お客様の方で取り外していただくよう指示してください。

❗ 残った梱包材は施工業者が必ず撤去してください。



サクションバーの取り外し方

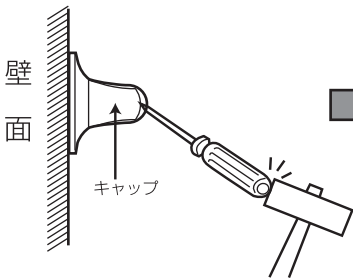
必要な工具



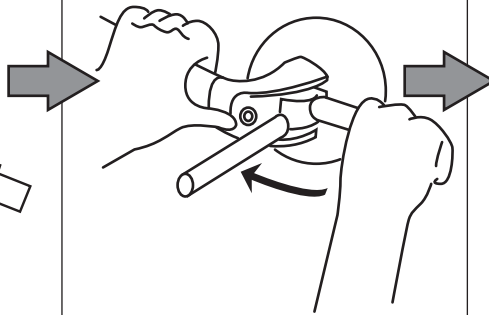
ハンマー ヘラ ドライバー 付属レバー

※左記の工具は、雑貨店およびホームセンターなどで購入できます。(付属レバー以外)

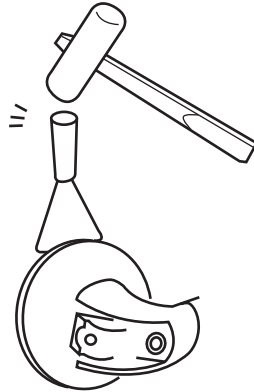
1. ブラケットとキャップとの間にマイナスドライバーを差し込み、ハンマーで軽くたたいてキャップを取り外してください。



2. レバー軸の穴に、レバーまたは棒等を差し込みレバー軸を回転させて戻してください。



3. 接着面にへらをあて、ハンマーでたたきながら、手ずりと壁面を少しずつ剥がしてください。



! 注意
壁面にキズを付けないよう注意してください。

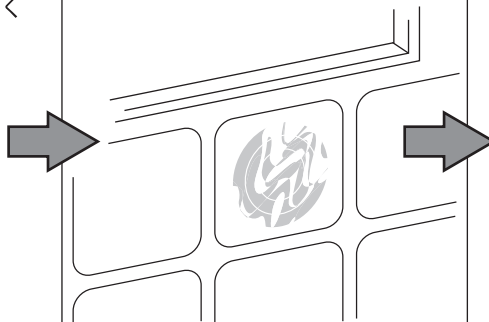
4. 壁面に残った接着剤は、へらで削り取ってください。

70℃～80℃のお湯をかけ暖めると接着剤が取れやすくなります



! 注意
壁面にキズを付けないよう注意しておってください。

5. へらで削り取った後もわずかに接着剤が残ります。



6. 下記の指示に従い、壁面の状態に応じて残っていた接着剤をこすり落としてください。

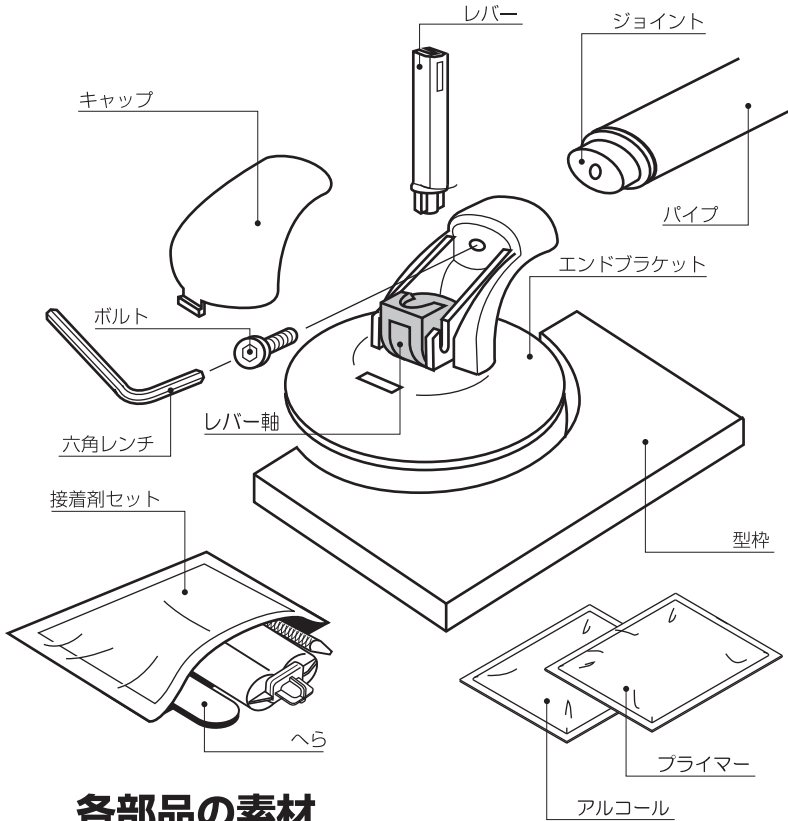


中性洗剤とスポンジの硬い方でこすり落としてください。
研磨剤入り洗剤と硬めのブラシ(たわし等)でおとしてください。

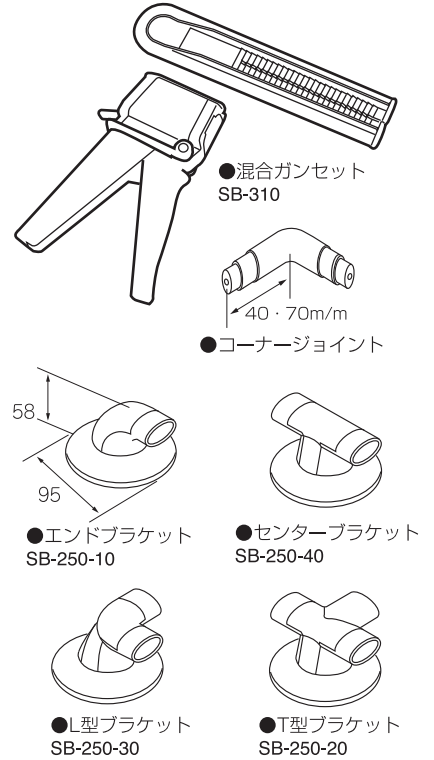
! 注意
壁面にキズを付けないよう注意しておってください。

各部の名称

エンドブラケット



システムパーツ



各部品の素材

部品名	素材
ブラケット	ASA樹脂
ブラケットキャップ	
ジョイント	
パイプ (手すり部)	SUS304 ステンレス
ボルト	ステンレス
吸盤	ウレタンゴム
レバー	ポリカーボネイト
レバー軸	

部品名	素材
パイプカバー	オレフェン系エラストマー
六角レンチ	鉄 4mm (ユニクロメッキ)
型枠	発泡ウレタン
へら	木
接着剤	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> </div> <div style="margin-right: 10px;"> </div> <div> </div> </div> 2液ウレタン樹脂接着剤 火気厳禁 第4類第4石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ 成分：4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート

接着剤及び施工上の注意事項

安全使用期間 施工日より7年

接着剤の注意		施工上の注意	
⊘	可燃物ですので、火気の付近で使用しないでください	⊘	指定の硬化剤以外のいかなる物とも混合しないでください。
❗	目に入ったときは流水で15分ぐらい洗い、医師の診断を受けてください。	⊘	本品の取り付け以外に接着剤を使用しても、強度責任は持てませんので、使用しないでください。
❗	皮膚に触れたときは布等で拭きとり、石鹸で洗ってください	⊘	専用接着剤以外での取付けはおやめください。
❗	人体に異常があったときは使用をやめ、医師の診断を受けてください。	❗	接着剤を使用する時は、窓等をあけ、換気のよい状態で使用してくださいししてください。
⊘	アレルギー体質や肌が敏感な人は使用しないでください。	⊘	廊下、玄関、階段等には使用しないでください。
⚠	材質によっては製品を使用すると変質することがあります。	❗	開封後の梱包資材及び使用後の接着剤は必ず施工業者の方が持ち帰ってください。
❗	直射日光を避け、湿度が低い5～10℃の暗所で保管してください。	⊘	浴槽の中には取り付けしないでください。